

研究構想図

学校の教育目標

教育活動全体を通して、人権尊重の精神を基調とし、国際社会や地域社会の信頼と尊敬を得られる心身ともに健康で、知性と感性に富んだ人間性豊かな児童を育てる。

目指す児童像

- 主体的に思考・判断・表現し、コミュニケーションを図る子供
- 感謝の心をもって、相手を思いやる子供
- 丈夫な体と粘り強く最後まで頑張る心をもつ子供

研究主題

「共に学び、自らを高めていく子供の育成」
～説明的文章を通して考えを深め表現する中で～

目指す児童像

低学年分科会

順序立て、理由を付けて表現することを楽しさを感じることができる児童

中学年分科会

相手に伝える目的意識をもち、主体的に文章構成を考え、書く喜びを味わえる児童

高学年分科会

目的や意図に応じて、全体の構成や展開を考え、表現する喜びを味わえる児童

専科分科会

言葉で伝えることができ、自分で意思表示ができる児童

研究の仮説

説明文の指導において、要約指導や文章構成を捉える場面を工夫し、主体的に読ませることで、確かな読みの力を身に付けるとともに、自分の考えを表現することができるだろう。

研究主題に迫る指導の工夫

- ・教科横断的な年間指導計画の作成
今年度1年間で各教科・領域で関連する学習内容を一覧にし、活用できるようにする。
- ・密を避けた取組の工夫
- ・視写
- ・モジュールの時間を活用した常時活動
- ・作品に対する説明の文章
- ・まとめ方シートを活用し自らの考えを整理し、表現する。